

妙延寺だより vol15

令和7年3月発行

発行 浄土真宗本願寺派 妙延寺

〒761-2304 香川県綾歌郡綾川町萱原 249

TEL : 087-876-0875 琴電綾川駅 500m

HP : <https://myouenji-kagawa.com>

自利利他

他社の喜びを自らの喜びとする

仏教の教えに「自利利他」という教えがあります。「自利」というのは自分が幸せになるということであり、「利他」というのは他者にも幸せになってもらうということです。そして「自利利他」というのは、自分の幸せ（自らの喜び）が、他人の幸せ（他者の喜び）にもつながり、他人の幸せ（他者の喜び）が、自分の幸せ（自らの喜び）にもなるということです。

いわば「世界全体が幸福にならないいうちは、個人の幸福はあり得ない。」（宮澤賢治）という世界です。

この教えは、「なるほど」と思う反面、現実問題となると、非常に難しいものがかかえています。何故なら、私たちは自分の幸せ（自利・自らの喜び）を得るために努力することができて、それを後回しにし、他人の幸せ（利他・他者の喜び）のために努力するというのが苦手なものです。ましてや、他人の幸せが、必ずしも直接的に自分の幸せにつながるかと思え

なければなおさらです。

そこには、自分が一番可愛いという、「自我」の思いがあります。しかし、他人のことはほっておいて、自分の幸せのみを追求すればどうでしょうか。じつに、ギスギスとした、争いごとの絶えない凄惨な社会となります。

私たちは、そんな社会を決して求めていません。

それ故に、自然と、「おもてなし」「おもいやり」「おかげさま」等の言葉に、何か、懐かしさや、安らぎを感じ、心がひかれるのではないのでしょうか。

大切なことは、「自分」「他人」という「自我」の壁を可能な限り低くし、〈少しでも相手の心を知ることができる〉ように努めることです。

しかし、実は、このことが難しいのです。

自己中心で煩惱に満ちた我々だから、お釈迦様は「自力利他」の教えを説い

てくれたのだと思います。この言葉を知ると知らないでは、私たちの歩み方変わってきます。大切にしたい言葉です。

住職

妙延寺の行事予定

◆八月三日(日曜日)

キッズサンガ

夏休み宿題サポート

◆八月十四日(木曜日)

お盆法要

講師 片岡 妙晶 師

◆九月下旬

秋の永代経法要

講師 筑後 誠隆 師

◆十月十九日(日曜日)

お寺マルシェ

音楽会 & 落語会

※六月の落語会は調整中

春の永代経法要

令和七年

三月三十日(日曜日)※お斎(昼食)あり

◆納骨堂永代経法要 午後一時より

※納骨堂にご納骨されている方は、お参りください

◆永代経法要(本堂) 午後一時三十分より

法話「人生いろいろ 死の縁無量」

一昨年三月、実兄が四年にもわたる闘病の末、さらには、同年十一月、実父がコロナ感染に起因する心不全により、お浄土へ参りました。六年前に先立つた実母は、誤嚥性の窒息死でした。長患いと流行病のピンピンコロリ、まさに三者三様。それを先人は、「死の縁無量」と教えてくださいます。推し量ることのできない生命。さあさあ、私自身はどうなることやら。

◆講師 浄土真宗本願寺派布教使 田井 智彦 師

◆門信徒関係なく、どなたでもお参りできます。

●妙延寺仏教婦人会総会のご案内 午前十時三十分より

会員の皆さまのご出席お願いいたします。

◆春の永代経法話講師

たいともひこ

田井 智彦 師プロフィール

法話の講師は、高松市高正寺の田井智彦師にお願いしました。本願寺津村別院発行の「御堂さん」の編集等、多岐にわたり活躍されています。そして、やわらかな物越しと聞きやすく穏やかな声質により、聴く人を温かく包んでくれます。

私が何かを始める際にアドバイスをもらいにいく方で、相手の気持ちを汲み取り立場に立つて考えていただけます。当寺で開催している「仏教講座」にても頼りにしている方です。

皆さん、是非お話しをお聴きください。必ず心が豊かに柔らかくなります。

・一九六七年 岡山県笹岡市生まれ

・高松市・高正寺住職代務

・宗門内随一の教化誌「御堂さん」編集委員

・本願寺のガイドさん

「お西さんを知ろう！」スタッフ

